

令和 3 年度

社会福祉法人 豊橋市社会福祉協議会事業報告書

令和3年度事業報告書目次

1. 令和3年度の事業概要と重点的取り組み	2 ページ
2. 理事会、評議員会、監事会	4 ページ
3. 重点事業	
(1)福祉相談サポートセンターの運営	6 ページ
(2)基幹型地域包括支援センターの運営	9 ページ
(3)成年後見支援センターの運営	16 ページ
(4)日常生活自立支援事業の実施	19 ページ
(5)地域たすけあい事業の実施	20 ページ
(6)民生委員・児童委員活動の推進	21 ページ
(7)地域福祉サービスセンター事業	22 ページ
(8)相談事業	23 ページ
(9)福祉資金の貸付等	24 ページ
(10)生活困窮者自立相談支援	25 ページ
(11)子どもの貧困対策に向けた取り組み	26 ページ
(12)介護予防事業の実施	26 ページ
(13)ボランティア活動の振興	29 ページ
(14)福祉教育の推進	37 ページ
(15)福祉人材バンク事業の推進	40 ページ
(16)とよはしファミリー・サポート・センターの運営	42 ページ
(17)豊橋市つどいの広場の運営	43 ページ
(18)在宅福祉サービスの提供	45 ページ
(19)災害時要支援者支援体制の構築	46 ページ
4. 一般事業	
(1)児童・母子福祉事業	47 ページ
(2)福祉教育振興基金助成事業	47 ページ
(3)高齢者福祉事業	48 ページ
(4)障害者（児）福祉事業	50 ページ
(5)校区社会福祉協議会の育成指導	51 ページ
(6)施設の管理及び運営	52 ページ
(7)啓発及び広報活動	53 ページ
(8)共同募金運動への協力	54 ページ
(9)諸団体への助成	57 ページ
(10)本会社会福祉事業等への寄付、寄贈	57 ページ
(11)会費制度	58 ページ

1. 令和3年度の事業概要と重点的取り組み

(1)事業概要

令和3年度は、豊橋市地域福祉活動計画(第2期)並びにボランティア活動推進計画(第4版)の1年目として、豊橋市地域福祉活動計画の基本理念「全ての人に関心を持って、お互いに支え合い、いきいきと暮らせる地域社会の実現」のもと、3つの基本目標「支え合いの社会づくりに向けた市民意識の醸成と担い手づくり」「安全・安心に暮らせる地域づくり」「分野を超えて包括的に地域を支援する仕組みづくり」を視点として事業を実施しました。

重点的取り組みでは、上記視点を踏まえ、地域共生社会や多機関協働の推進に求められる横のつながり作りに資するための横断的な広報・啓発推進のための広報調整会議の設置や、コロナ禍等を踏まえ、様々な立場の人たちに対する福祉学習機会の充実や地域活動への参加を促進するための方法の検討、災害時における福祉施設等との連携を目的とした災害VC講習会の内容充実や情報提供、社会福祉法人の公益的な取り組みに関する調査・情報収集などを実施しました。

また重点事業では、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、市内の感染者数、事業の実施目的・場所・人員規模・参加者や従事者等の状況を所轄行政や関係機関と情報共有・協議し可能な事業を実施すると共に、縮小・オンライン・配信・書面・代替事業の実施など、その時点に即した取り組みを行いました。

そして、新型コロナウイルス感染症の経済的影響を踏まえて令和2年3月25日より始まった生活福祉資金特例貸付についても引き続き窓口対応を行い、休業や失業等により収入が減少した世帯等の生計維持、生活再建を支援しました。

(特例貸付累計 … 緊急小口資金 3,497件 659,615,000円
総合支援資金 2,332件 1,232,222,000円)

(2)重点的取り組み

①福祉各分野の横断的な広報による地域福祉啓発

横断的な広報・啓発推進のため広報調整会議及び広報調整会議ワーキンググループを設置し、市民・事業者等に向けた広報のあり方や方法について検討するとともに、広報体制の見直しや出前講座などの広報メニューの開発に取り組んだ。

1) 広報調整会議・広報調整会議ワーキンググループの開催

区 分	令和3年度
広報調整会議	全6回
広報調整会議ワーキンググループ	全5回

②マスコットキャラクターによるPR

ボランティアセンター公式マスコットキャラクターの制作について、ボランティアセンター運営委員会などの意見を取り入れながら、キャラクターを決定した。

③デジタルコンテンツの活用による学習機会の充実

福祉学習におけるデジタルコンテンツの活用や体験学習用の動画活用について、各種福祉教室担当講師へのヒアリングや他市福祉教育担当者との情報交換を実施し、活動媒体や方法について検討した。

④マッチングアプリ等を活用したボランティアへの参加促進

主だったSNSなどの課題や留意点について洗い出し、活用媒体について検討した。

⑤男性シニア層の地域活動参加支援

地域活動に不慣れな男性の参加促進を目的に、男性シニア層を対象とした講座等によるモデル事業の実施を検討した。

⑥情報通信技術（ICT）等を活用した見守りに関する情報収集と検討

一人暮らし高齢者等の状態変化の早期発見や見守りのツールとして、こうした技術を活かした支援方法の情報収集と活用について検討した。

⑦災害ボランティアセンターと福祉施設との連携強化

豊橋市と共催で実施する災害ボランティアコーディネーター養成講座へ、豊橋市と災害時における要配慮者の受入協定を締結している福祉施設（法人）の参加を促し、災害ボランティアセンターの役割周知や理解促進について情報提供を行った。

⑧福祉避難所機能の強化

豊橋市と連携し地震等の災害発生を想定した福祉避難所開設に関する訓練を実施した。

⑨災害時の対応等に関わる福祉事業者への情報提供、連携強化

豊橋市介護保険関係事業者等連絡会の研修やケアマネジャーの茶話会等を通じて、地震災害や感染症対応に資する情報提供を行った。

⑩大学との協働による学生の福祉活動への参加促進

豊橋創造大学カリキュラムに参加し、学生に対する福祉活動の啓発を行うとともに、とよはしボランティアネットワークが実施するイベントへの参加促進について取り組んだ。

⑪市内の社会福祉法人の公益的な取り組みに関する調査・情報収集・意見交換

市内社会福祉法人の公益的な取り組みの実施状況等に関する現状把握のためアンケート調査を実施した。

⑫住民による新たな地域活動への財源支援の検討

地域福祉活動に対する効果的な財源支援についての検討に取り組んだ。

2. 理事会、評議員会、監事会

(1)理事会

- ①第195回理事会 令和3年6月11日（金）総合福祉センターあいトピア
議事 1)令和2年度事業報告について
2)令和2年度歳入歳出決算について
3)社会福祉充実計画について
4)定款の変更について
5)規程の改正について
6)令和3年度補正予算〔第1回〕について
7)評議員候補者の推薦について
8)任期満了に伴う役員（理事・監事）候補者の推薦について
9)評議員会の招集について
- ②第196回理事会 令和3年6月28日（月）総合福祉センターあいトピア
議事 1)会長、副会長の選定について
2)常務理事の選定について
3)任期満了に伴う評議員候補者の推薦について
4)任期満了に伴う評議員選任・解任委員会委員の選任について
- ③第197回理事会 令和4年1月24日（月）総合福祉センターあいトピア
議事 1)令和3年度補正予算〔第2回〕について
2)規程の改正について
3)評議員会の招集について
4)評議員候補者の推薦について
- ④第198回理事会 令和4年3月28日（月）総合福祉センターあいトピア
議事 1)令和3年度補正予算〔第3回〕について
2)規程・規則の改正について
3)令和4年度事業計画について
4)令和4年度歳入歳出予算について
5)第三者委員の選任及び委嘱について

(2)評議員会

- ①第170回評議員会 令和3年6月28日（月）総合福祉センターあいトピア
議事 1)令和2年度事業報告について
2)令和2年度歳入歳出決算について
3)社会福祉充実計画について
4)定款の変更について
5)令和3年度補正予算〔第1回〕について
6)任期満了に伴う役員（理事・監事）の選任について
- ②第171回評議員会 令和4年2月1日（火）決議の省略
議事 1)令和3年度補正予算〔第2回〕について
- ③第172回評議員会 令和4年3月30日（水）総合福祉センターあいトピア
議事 1)令和3年度補正予算〔第3回〕について
2)令和4年度事業計画について
3)令和4年度歳入歳出予算について

(3)監事会

- ①令和3年6月4日(金) 総合福祉センターあいトピア
議事 1)令和2年度事業報告について
2)令和2年度歳入歳出決算について

(4)評議員選任・解任委員会

- ①令和3年6月11日(金) 総合福祉センターあいトピア
②令和3年6月28日(月) 総合福祉センターあいトピア
③令和4年1月24日(月) 総合福祉センターあいトピア

3. 重点事業

(1)福祉相談サポートセンターの運営（豊橋市より受託）

福祉相談サポートセンターの運営を豊橋市より受託し、既存の支援制度では対応困難な多様化・複雑化した支援ニーズに対応するための包括的相談支援体制の構築と相談支援事業を、社会福祉士を配置して行った。

①相談件数及び主な相談内容等

1)相談件数（件数）

相談経路	令和3年度
地域包括支援センター	35
本人・家族・知人	23
居宅介護支援事業所	17
障害者相談支援事業所	11
行政（豊橋市、愛知県）	9
医療機関	7
社協内他部署	5
民生委員・児童委員	3
合 計	110

2)主な相談内容

- ・ 8050問題、引きこもり等世帯
- ・ 社会的孤立によりSOSの発信ができない世帯や個人
- ・ 世帯員ごとに生活課題があり、家族内で生活課題を解決できない世帯
- ・ 自己放任（セルフネグレクト）により心身の健康が脅かされ孤立した世帯や個人
- ・ 福祉サービスや金銭管理等の支援が必要と思われるが利用していない世帯や個人
- ・ 親亡き後の障害者支援
- ・ 相談先が分からない市民や相談支援機関からの問い合わせ
- ・ 生活困窮者等への支援制度（各種給付金、フードバンク）の問い合わせ

②受け付けた相談のうち、支援を行った世帯及び人数

1)令和3年度中に福祉相談サポートセンターによる支援を行った世帯及び人数

- ・ 56世帯 63名

2)多機関連携によって世帯の生活課題等を解決するため、関係機関によるチーム会議を開催した。

区 分	令和3年度
開催回数	44

3)関係機関の役割分担と支援方針を明確にするための支援プランを作成した。

- ・ 支援プラン数 37件

4)受け付けた相談への支援内容と年間支援回数（回）

区 分	令和3年度
本人宅訪問	397
本人との同行支援	106
多機関との連絡調整	1,621
本人との連絡調整	568

③市内の相談支援機関との連携や情報共有、広報啓発

1) 支援に対する現状認識の共有や支援方針の検討を目的とした取り組みへの参加

- ・地域包括支援センターの地域ケア会議（個別地域ケア会議） 3件
- ・地域包括支援センターの地域ケア会議（小地域ケア会議） 1件
- ・高齢者虐待協議のネットワークミーティングへ 2件

2) 研修・事例検討等を目的とした取り組みへの参加

- ・豊橋市生活福祉課支援会議 令和3年8月11日
- ・豊橋市子ども若者支援地域協議会個別検討会議 令和4年3月10日

3) 事業紹介・啓発を目的とした取り組み

- ・基幹型地域包括支援センター別の茶話会における指定居宅介護支援事業所への啓発
中央圏域：5/13 東部圏域：5/17 南部圏域：5/18
- ・特定事業所加算を算定する指定居宅介護支援事業所へ事業説明 20事業所
- ・豊橋市障害者自立支援協議会運営委員会への事業説明
- ・地域活動支援センターへの事業説明 4センター
- ・地域子育て支援センターへの事業説明 5センター
- ・子育て支援課母子・父子自立支援員への事業説明
- ・豊橋市主任児童委員協議会研修会への事業説明
- ・医療相談員の配置されている急性期医療機関への事業説明 3医療機関
- ・医療相談員の配置されている精神科病院への事業説明 1医療機関

4) 市内の福祉保健関係者等の顔の見える関係づくり

- ・豊橋市福祉保健関係業務従事者研修会の開催 令和3年5月13、14日
- ・子どもの居場所づくりネットワーク会議（不定期）
- ・生活支援コーディネーター会（毎月1回）

④重層的支援体制整備事業に向けた取り組み

1) 相談支援包括化推進会議の開催

既存の相談支援等の取り組みを生かしつつ、地域住民の多様化・複雑化した支援ニーズに対する包括的支援体制の整備を進めるため、事業に係る行政等の管理職を中心とした推進会議と、相談業務に従事する相談員を中心とした相談員会議を設置して開催した。

区 分	令和3年度
相談支援包括化推進会議（推進会議・相談員会議合同）	1
相談支援包括化推進会議（推進会議）	1
相談支援包括化推進会議（相談員会議）	5

⑤新たな社会資源への取り組み（参加支援事業）

孤立等により社会参加していない者への支援として、障害者総合支援法に基づく就労継続支援B型事業所を制度外に利用する新たな社会資源の創出のため、事業形態や受け入れ等についてアンケート調査を実施した。

1) アンケート依頼件数 就労継続支援B型事業所 43事業所（令和3年7月時点）

⑥地域の活動支援（地域づくり）

多様な地域づくりが生まれやすい環境整備を目的に、各種活動支援や勉強会を開催した。

1) 各種活動支援

- ・子どもの居場所づくり（子ども食堂）の開設相談 1件
- ・子ども食堂に対する各種助成金申請の支援 3件
- ・王将フードサービス冬休み「お子様弁当無料配布」の支援 138食
- ・王将フードサービス春休み「お子様弁当無料配布」の支援 603食
- ・NPO法人東三河フードバンクへの活動支援 セブンイレブンジャパンによる寄贈品の提供

2) 学習会の開催

- ・『地域共生社会における子ども食堂の今後の姿』（向山地区民生委員協議会）
令和3年10月16日
- ・『地域から孤立した世帯・個人への支援の在り方』（大清水校区地域ケア会議）
令和3年11月16日

(2)基幹型地域包括支援センターの運営（豊橋市より受託）

保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員、認知症地域支援推進員を配置し、包括的な高齢者支援を実施した。

- ・豊橋市中央地域包括支援センター（基幹型・総合福祉センターあいトピア内）
- ・豊橋市東部地域包括支援センター（基幹型・つつじが丘地域福祉センター内）
- ・豊橋市南部地域包括支援センター（基幹型・大清水地域福祉センター内）

①介護予防ケアマネジメント事業

1)要支援認定者及び総合事業対象者の計画作成、サービス提供、評価（件数）

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
中 央	2,745	2,936	△191
東 部	3,632	3,661	△29
南 部	4,746	4,703	43
延べ件数	11,123	11,300	△177

②総合相談・支援事業

1)相談業務（件数）

区 分		令和3年度	令和2年度	比 較
中 央	訪 問	1,040	1,287	△247
	相 談	2,647	2,237	410
	連 携	2,709	2,866	△157
	合 計	6,396	6,390	6
東 部	訪 問	1,425	1,592	△167
	相 談	4,914	4,637	277
	連 携	4,477	4,390	87
	合 計	10,816	10,619	197
南 部	訪 問	3,012	2,807	205
	相 談	2,382	2,661	△279
	連 携	5,615	4,168	1,447
	合 計	11,009	9,636	1,373
延べ 件数		28,221	26,645	1,576

2) 介護予防普及啓発の実施

自治会・老人クラブを始めとする地縁組織などに出向き、介護保険制度や介護予防の啓発、講座などを実施した。※実績は件数。カッコ内は出前講座の実績

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
中 央	84 (25)	67 (12)	17 (13)
東 部	89 (19)	72 (3)	17 (16)
南 部	106 (30)	110 (24)	△4 (6)
延べ件数	279 (74)	249 (39)	30 (35)

③包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

主治医、介護支援専門員等との多職種協働や、地域の関係機関との連携により、包括的・継続的なケアマネジメントを実現するための後方支援を行った。

1) 地域ケア会議の開催

個別課題の検討・分析と共に、地域課題について関係機関と協議した。(件数)

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
中 央	4	4	0
東 部	8	5	3
南 部	6	11	△5
延べ件数	18	20	△2

2) 広域的地域ケア会議

地域ケア会議で検討された地域課題について圏域内の地域包括支援センターと課題の整理を行い、必要な社会資源について検討した。(件数)

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
中 央	6	4	2
東 部	4	4	0
南 部	4	4	0
延べ件数	14	12	2

3) ケアプラン作成指導研修事業

居宅介護支援事業所の介護支援専門員を対象に、介護支援専門員研修交流会を実施した。(件数)

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
中 央	2	2	0
東 部	2	2	0
南 部	2	2	0
延べ件数	6	6	0

④介護支援専門員個別相談窓口設置業務

地域の居宅介護支援事業所からの相談を受け、助言・指導等を行った。(件数)

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
中 央	207	212	△5
東 部	279	223	56
南 部	82	56	26
延べ件数	568	491	77

⑤介護予防普及啓発事業

シニアのための食とお口の健康講座(実績は参加者数)

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
総合福祉センターあいトピア	9	20	△11
東部地区市民館飯村分館	12	9	3
大清水地域福祉センター	4	10	△6
合 計	25	39	△14

⑥高齢者虐待防止ネットワーク運営事業(豊橋市より受託)

高齢者虐待に関する相談と、被虐待者の早期発見、支援のためのネットワークの構築や虐待防止の啓発を実施した。

1)豊橋市高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会の開催(委員…14名)

11/15(月)・2/25(金)

2)啓発活動

豊橋市高齢者虐待防止対応マニュアル、高齢者虐待相談窓口紹介パンフレット、高齢者虐待防止啓発冊子を作成し、関係機関等に配布した。

3)通報・相談件数

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
担当ケアマネジャー	46	40	6
サービス提供事業所	5	4	1
民生委員・児童委員	0	3	△3
医療機関	8	9	△1
近隣、友人、家族	15	20	△5
本人	0	4	△4
行政・警察	56	48	8
その他	4	4	0
延べ件数	134	132	2

4) コアメンバー会議の開催状況

豊橋市と地域包括支援センターにより、虐待の判断や緊急性の有無を協議した。

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
虐待と判断した件	52	53	△1
判断に至らない件	3	6	△3
虐待ではないとした件	64	47	17
開催回数	119	106	13

5) 虐待の種類別件数（重複有）

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
身体的虐待	32	39	△7
心理的虐待	5	13	△8
性的虐待	0	0	0
経済的虐待	5	4	1
ネグレクト	14	9	5
合 計	56	65	△9

6) ネットワークミーティングの開催 … 3回

虐待案件協議のため、豊橋市や関係機関等によるケース検討会を開催した。

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
開催回数	3	6	△3

7) 年度末時点の虐待対応状況

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
支援中	33	25	8
見守り中	11	14	△3
終了	42	65	△23
合 計	86	104	△18

※終了の理由（カッコ内は昨年度実績）

入所 15件（14件）、入院 5（11件）、死亡 5件（4件）、改善 10件（24件）
 その他 7件（12件）

8) 関係機関との連携（件数）

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
豊橋市長寿介護課	58	56	2
豊橋市生活福祉課	11	10	1
豊橋市障害福祉課	10	5	5
豊橋市保健所	9	9	0
地域包括支援センター	99	101	△2
居宅介護支援事業所	50	59	△9
福祉事業所・入所施設	48	44	4
民生委員・児童委員	7	14	△7
医療機関・警察	28	32	△4
その他	19	20	△1
合 計	339	350	△11

9) 高齢者虐待に関する研修会の実施

- ・介護支援専門員動画配信研修 7/20（火）視聴回数154回
- ・茶話会研修 東部11/5（金）30人、南部1/18（火）38人、中央3/10（木）45人
- ・施設管理者向け研修 10/20（水）24施設29人

10) 説明会実施

福祉関係者の集まる会議等にて、虐待早期発見及び通報の重要性等を周知した。

11) 高齢者虐待に関する調査の実施

豊橋市内の全居宅介護支援事業所（73ヶ所）、小規模多機能型居宅介護（4ヶ所）、看護小規模多機能型居宅介護（3ヶ所）、地域包括支援センター（18ヶ所）で把握している高齢者について、「高齢者虐待チェックリスト」を活用して虐待の早期発見並びに実態把握のための状況調査を実施した。

12) 高齢者虐待チェックリストの状況 (件数)

- ・調査対象…令和3年7月の在宅サービス利用高齢者
- ・調査結果

内 容	令和3年度	令和2年度	比 較
チェックリストの項目 に該当なし	9,081	8,730	351
チェックリストの項目 に該当あり	467	490	△23
a. 問題なし	420	440	△20
b. 通報済み	35	36	△1
1) 虐待なし	(4)	(3)	1
2) 虐待と判断できず	(0)	(2)	△2
3) 虐待あり	(31)	(31)	0
c. 未通報	12	14	△2
1) 虐待なし	(3)	(11)	△8
2) 虐待と判断できず	(0)	(1)	△1
3) 虐待あり	(9)	(2)	7
計	9,548	9,220	328
※虐待件数 b3) + c3)	40	33	7

⑦認知症座談会〔家族介護者交流事業〕の開催 (年4回)

認知症の家族を抱える介護者の負担軽減のため、医師や保健師等がサポートし同じ境遇にある家族が交流する座談会を開催した。

- ・助言者／伊莉 弘之 氏 (医療法人さわらび会 福祉村病院 副院長)
7/15(木)・5名、11/18(木)・5名、1/20(木)・5名、3/17(木)・9名
- ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2回中止

⑧当事者グループへの支援

認知症座談会に参加された介護者等が参加し、介護について話し合うグループを支援した。

1) 当事者グループ

- ・なごみの会 (総合福祉センターあいトピア・毎月第2火曜日・会員 8名)
- ・つつじ会 (つつじが丘地域福祉センター・毎月第2水曜日・会員 20名)
- ・ほいっふ認知症介護者交流会 (ほいっふ・毎月第2木曜日・会員 9名)

2) 全体交流会 3/3 (木) ・7名

3) 若年性認知症者交流会「ともの会」・月1回

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、8、9月は中止

⑨認知症サポーター養成講座の開催

認知症を理解し、認知症の人や家族の方を支援していただくサポーターを養成する講座を、企業や各種団体の依頼を受けて認知症地域支援推進員を中心に実施した。

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
中 央	17回・329名	2回・45名	15回・284名
東 部	8回・137名	11回・239名	△3回・△102名
南 部	8回・254名	5回・213名	3回・41名
延べ件数	33回・720名	18回・497名	15回・223名

⑩豊橋市認知症おかえりネットワーク運営事業

行方不明の恐れのある認知症高齢者等を地域で見守ると共に、豊橋警察署と連携して、行方不明になった場合には早期に発見し保護できる体制づくりに取り組んだ。

1) 事前登録件数

行方不明になる恐れのある認知症高齢者等について、「豊橋おかえりネット登録カード」で把握すると共に、講座等で発見活動協力者の登録を呼びかけた。

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
豊橋おかえりネット登録カード	412 (内新規129)	430 (内新規162)	△18 (新規△33)
発見活動協力機関	282 (内新規1)	281 (内新規5)	1 (新規△4)
発見活動協力員	7,197 (内新規不明)	5,199 (内新規不明)	1,998 (新規不明)

2) 行方不明者ネームプレートの作成、配布

衣類等にアイロンプリントできるネームプレートを登録者に配布した。

3) 行方不明者への事後訪問

発見活動の相談があった方について認知症地域支援推進員が事後訪問を実施し、実態把握と再発防止に向けた支援を行った。

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
対象者数	41	53	△12

4) 周知啓発活動

地域包括支援センターや居宅介護支援事業所等に対して、行方不明になる恐れのある高齢者等への事前登録や発見活動協力機関としての登録促進を啓発した。

⑪認知症介護家族支援講座への協力

豊橋市が実施した認知症介護家族支援講座に協力するとともに、終了後の自主グループへの参加の呼びかけを行った。

⑫豊橋市介護保険関係事業者等連絡会

介護保険事業の適正運営とサービスの向上を図るため、連絡会の事務局として、事業者や従事者への情報提供、研修、交流のための各種事業を実施した。

1) 会員数（令和4年3月31日現在）

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
居宅介護支援事業所	90	92	△2
訪問通所系事業所	230	228	2
施設入所系事業所	22	22	0
地域密着型サービス事業所	121	115	6
福祉用具・住宅改修等	46	48	△2
合 計	509	505	4

2) 運営委員会（委員14名・年4回）

4/14(水)、7/14(水)、10/20(水)、2/2(水)

3) 豊橋市介護保険関係事業者等連絡会全体会 参加状況

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
第1回・5/14(金)配信	視聴回数 計 582回	視聴回数 計 796回	△214回
第2回・10/8(金)配信	視聴回数 計 393回	視聴回数 計 1,787回	△1,394回
第3回・3/1(火)配信	視聴回数 計 629回	視聴回数 計 740回	△111回
合 計	視聴回数 計 1,604回	視聴回数 計 3,323回	△1,719回

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため動画配信による研修を実施した。

4) 研修会の実施

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
介護支援専門員研修交流会 6/28(月)配信	視聴回数 計 166回	視聴回数 計 452回	△286回
サービス事業者交流会 8/13(金)配信	視聴回数 計 513回	視聴回数 計 1,457回	△944回

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため動画配信による研修を実施した。

5) 「令和3年度 事業者ガイドブック」の作成（A4版、全327ページ、1,436冊）

介護保険サービスを適切に活用していただくために、豊橋市内で介護保険サービスを提供する事業者をサービスの種別ごとに紹介したガイドブックを作成し、会員事業所や関係機関に配布した。

6) 在宅医療と介護の連携推進のための「電子@連絡帳」の普及推進

東三河電子連絡帳協議会（東三河ほいっぷネットワーク）が進める電子@連絡帳の普及・啓発に協力した。

(3) 成年後見支援センターの運営

成年後見制度の相談業務をはじめ、普及啓発、法人後見業務等を行う成年後見支援センターの運営を豊橋市より受託し、認知症、知的障害、精神障害等の理由で判断能力が不十分なために財産管理や契約行為が困難な方が、成年後見制度を適切に活用するための総合的な支援を行った。

①運営委員会（委員…10名）、後見審査会（委員…8名）の開催

センター事業の適正な運営を図る運営委員会並びに法人後見受任についての適否を審査する後見審査会を開催した。（開催数）

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
運営委員会	2	2	0
後見審査会	3	2	1

②法人後見受任状況（年度末日現在の件数）

1)受任件数 47件

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
後 見	39	34	5
保 佐	6	6	0
補 助	2	2	0
合 計	47	42	5

2)対象別の内訳(カッコ内は令和2年度実績)

区 分	後見	保佐	補助	合 計
認知症	19(16)	1(1)	0(0)	20(17)
知的障害	10(9)	4(4)	0(0)	14(13)
精神障害	10(9)	1(1)	2(2)	13(12)
合 計	39(34)	6(6)	2(2)	47(42)

③相談受付状況

1)相談件数 460件（新規相談281件 継続相談179件）

内 訳	令和3年度	令和2年度	比 較
認知症高齢者	196	221	△25
認知症以外の要介護高齢者	24	18	6
要支援・要介護以外の高齢者	17	8	9
知的障害者	68	62	6
精神障害者	79	101	△22
身体障害者	6	9	△3
その他	70	36	34
合 計	460	455	5

2) 相談内容

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
制度概要	295	256	39
申立て手続き	252	224	28
判断能力・診断書・鑑定書	151	171	△20
身上監護に関する事	122	150	△28
財産管理に関する事	240	257	△17
家庭裁判所への手続き	64	63	1
虐待・権利侵害	22	45	△23
債務・浪費	70	75	△5
消費者被害	26	14	12
地域関係	7	16	△9
市長申立て関係	52	63	△11
相続・遺産分割協議	59	47	12
任意後見	38	13	25
その他	154	147	7
合 計	1,552	1,541	11

④「成年後見・権利擁護講座」の開催

市民および関係者を対象とし、成年後見制度および権利擁護に対する理解を深めることを目的とした連続講座（全4回）を開催した。（参加者数 ※人数制限あり）

令和3年度	令和2年度	比 較
40名	30名	10名

⑤広報啓発

パンフレットを作成し、福祉・医療・保健・その他関係機関・団体に配布したほか、市広報誌等に案内を掲載し広く市民への周知に努めた。また、関係機関での研修会をはじめ、まちづくり出前講座、講演会を通して制度について案内した。

（開催数と参加者数）

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
出前講座	5回・延べ114名	8回・延べ251名	△3回・△137名
講 演 会	1回・34名	1回・37名	0・△3名

(4)日常生活自立支援事業の実施（愛知県社会福祉協議会より受託）

判断能力が十分でないため、日常生活を営むことに支障がある認知症高齢者や知的障害者等の福祉サービスの利用に関する相談・助言・申請手続・費用の支払い等の援助を行う日常生活自立支援事業を実施した。

①相談件数

区 分	令和3年度		令和2年度		比 較	
新規相談	40	1,184	41	1,262	△1	△78
その他の相談	58		61		△3	
関係機関調整	1,086		1,160		△74	

②契約件数

区 分	期 首	当 期		期 末
		契約	解約	
新 規	—	6	—	6
継 続	74	—	13	61
合 計	74	6	13	67

③援助件数

区 分	令和3年度		令和2年度		比 較
福祉サービス利用	1,168	3,409	1,311	3,744	△335
金銭管理	2,241		2,433		

④生活支援員の配置

利用者宅などを定期的に訪問し、住み慣れた環境で安心して暮らせるよう、生活費のお届けや日常生活での相談に対応する生活支援員を配置した。

1)登録人数：9名

2)活動人数：1名（担当ケース：1件）

(5)地域たすけあい事業の実施

住民参加、相互扶助に基づく見守り・たすけあいの体制構築のため、地域の福祉ニーズの把握に努めるとともに、地域住民の福祉意識の高揚を図るために民生委員、自治会と協力し、各種啓発活動を展開した。

①見守りボランティア事業の推進

在宅のひとり暮らし高齢者等の見守りのため、民生委員の協力により見守り登録を推進した。

区	分	令和3年度	令和2年度	比較
ひとり暮らし	対象世帯数	3,397	3,564	△167
	見守り世帯数	1,905	2,100	△195
高齢者世帯	対象世帯数	271	277	△6
	見守り世帯数	118	114	4
障害者世帯	対象世帯数	43	40	3
	見守り世帯数	23	22	1
合計	対象世帯数	3,711	3,881	△170
	見守り世帯数	2,046	2,236	△190

※ひとり暮らしとは、近隣（概ね500m以内）に親族がいない状態

※高齢者世帯とは、全員が75歳以上で近隣（概ね500m以内）に親族がいない状態

※障害者世帯とは、ひとり暮らし又は同居者の心身状況に不安があり、近隣（概ね500m以内）に親族がいない状態

②見守りボランティア啓発リーフレットの作成、配布

市内の全世帯に見守りボランティア啓発リーフレットを配布し、ひとり暮らし高齢者等の見守り・たすけあい活動の基盤となる見守りボランティアの育成に努めた。

③冊子サンサンネットの作成・配布

ひとり暮らし高齢者等見守り対象世帯および見守りボランティアに対して、民生委員の協力により情報誌「サンサンネット」を配布した。

<3年度発行部数> 7,500部

④災害時安否確認等の啓発

見守りボランティアに対し、災害時における見守り対象者の安否確認と避難支援への協力を啓発するチラシを配布した。

(6) 民生委員・児童委員活動の推進

豊橋市民生委員児童委員協議会の行う研修や地域福祉活動等に積極的に協力するとともに、モデル民児協を指定して民児協活動の活性化を図った。

① 会議、研修等

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
定期総会	1回（書面）	1回（書面）	0
全体研修会	延期（次年度）	1回	△1
専門部会研修	各部会・各1回	各部会・各1回	0
活動研修会	延期（次年度）	各部会・各1回	△1
新任研修	未実施	未実施	0
地区会長施設等視察	延期（次年度）	中 止	0
他市視察	中 止	中 止	0
研修旅行	未実施	未実施	0

※新任研修は一斉改選年度のみ開催

② モデル民児協の指定（2年間）

岩田地区民生委員児童委員協議会と八町地区民生委員児童委員協議会をモデル民児協に指定して、本会と協働して地域の福祉活動を積極的に展開した。

③ 子育て支援事業の実施（「子育てミーティング」等の開催）

6歳までの子どもを養育している方を対象に実施。

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
箇所数・延べ人数	1ヶ所・17名	3ヶ所・38名	△2ヶ所・△21名

※10月～11月に予定した4ヶ所は新型コロナウイルス感染拡大のため延期。

※延期後企画した2回（対面・オンライン）のうち1回（オンライン）は参加者が集まらず中止。

④ 活動費の助成

⑤民生児童福祉名簿の整備（件数）

区 分		令和3年度	令和2年度	比 較
生活困難		1,473	1,469	4
障害者（児）	身体	1,240	1,238	2
	知的	556	526	30
	精神	100	94	6
	その他	84	74	10
ねたきり高齢者		98	118	△20
ひとり暮らし高齢者		8,380	8,120	260
認知症高齢者		352	362	△10
ひとり親	母子	2,065	2,210	△145
	父子	151	170	△19
高齢者世帯		4,793	4,417	376
児童（赤ちゃん訪問）		15,759	14,260	1,499

⑥民生委員互助共励事業の取扱い

(7)地域福祉サービスセンター事業

多様な福祉ニーズに対する総合的な援助のため、各種相談事業等を実施した。

①地域福祉コーディネーターの配置（2名）

②福祉カルテの登録

援助を必要とする世帯（個人）の同意を得た上で「福祉カルテ」を作成し、登録することにより、迅速で適正な福祉サービスを提供する基盤づくりに努めた。

分 類	新規登録件数	登録者数（令和4年3月末現在）
ひとり暮らし高齢者	273	3,397
高齢者世帯	38	271
障害者世帯	15	113
認知症高齢者	10	30
ねたきり高齢者	2	5
合 計	338	3,816

③総合福祉相談の実施

適切な相談業務を行うとともに、訪問相談等による福祉ニーズの掘り起こしを行った。

相談内容	件数内訳			計
	訪問	来所	電話	
福祉サービス利用、介護等	1,051	341	180	1,572
生活相談	0	6,656	8,104	14,760
法律相談	—	104	—	104
合計	1,051	7,101	8,284	16,436

④他機関との連携

連絡先	件数
地域包括支援センター	4
民生委員・児童委員	1
豊橋市長寿介護課	19
豊橋市生活福祉課	49
豊橋市保健所	12
県・市町村社会福祉協議会	13
医療機関	333
介護保険サービス事業所	161
介護保険以外の福祉施設	80
障害者支援センター	66
その他の相談機関等	461
合計	1,199

⑤車いすの短期（3ヶ月以内）貸出

・貸出実績 … 342件（内訳：身体障害者…91件、高齢者…194件、その他…57件）

⑥いきいき通信の発行（月1回）

ひとり暮らし高齢者世帯等に対し、福祉や健康に関する情報を提供した。

(8)相談事業

各種の相談事業を実施することにより市民の福祉ニーズの早期発見に努めるとともに、関係機関と連携して、問題の解決に総合的に取り組んだ。

①心配ごと相談

1)相談日

総合福祉センターあいトピア、つつじが丘・大清水・牟呂地域福祉センター
（各週1回）

2)相談員 9名〔常任相談員1名、相談員（民生委員）8名〕

3) 相談件数

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
開設日数	196日	196日	0日
相談件数	250件	245件	5件

②法律相談

1) 相談日

つつじが丘地域福祉センター(月1回)、大清水・牟呂地域福祉センター(隔月1回)

2) 相談員 弁護士 [愛知県弁護士会東三河支部へ委託]

3) 相談件数

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
開設日数	21日	23日	△2日
相談件数	104件	114件	△10件

③新任職員等業務研修の実施

総合的な相談体制整備の一環として、主に新規採用職員を対象に社会福祉協議会各事業を学ぶ研修を実施し、相談対応の資質向上に努めた。

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
回数 延べ参加者	全2回 延べ22名	全2回 延べ27名	0回 △5名

(9) 福祉資金の貸付等

経済的・社会的基盤の不安定な低所得世帯等に対し、低利又は無利子で福祉資金の貸付を行った。

①生活福祉資金の貸付状況(新規決定件数・額) (愛知県社会福祉協議会より受託)

区 分	令和3年度 件数・金額	令和2年度 件数・金額	比 較
生活支援費	0件 0円	0件 0円	0件 0円
福祉費	3件 564,000円	0件 0円	3件 564,000円
緊急小口資金	1,305件 246,360,000円	2,163件 408,355,000円	△858件 △161,995,000円
総合支援資金	1,938件 1,042,900,000円	394件 189,322,000円	1,544件 853,578,000円
教育支援資金	2件 2,490,000円	4件 984,000円	△2件 1,506,000円
臨時特例つなぎ資金	0件 0円	0件 0円	0件 0円
不動産担保型生活資金	新規貸付なし	新規貸付なし	0件 0円
合 計	3,248件 1,292,314,000円	2,561件 598,661,000円	687件 693,653,000円

※令和4年3月31日までに本会経由で申請し、貸付が決定した件数、金額

※緊急小口資金、総合支援資金は新型コロナウイルスの影響による特例貸付
(令和2年3月25日より受付開始)

※緊急小口資金、総合支援資金には、令和2年度に申請し令和3年度に送金された金額を含む

②豊橋市生活資金一時貸付金取扱い状況(豊橋市より受託)

区 分	令和3年度 件数・金額	令和2年度 件数・金額	比 較
貸 付	834件 9,060,000円	823件 9,010,000円	△20件 △320,000円
返 済	854件 8,327,000円	728件 7,300,000円	112件 881,000円

(10)生活困窮者自立相談支援

豊橋市生活福祉課に職員2名を配置し、市職員と連携し生活困窮者自立支援法に基づいた相談業務を実施した。

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
新規相談受付数	748	1,233	△485
プラン作成件数	182	213	△31
住居確保給付金	73	82	△9
一時生活支援事業	53	63	△10
就労準備支援事業	6	8	△2
就労支援	162	114	48
生活福祉資金等貸付 (コロナ特例貸付は除く)	0	16	△16
就労自立促進事業 (生活保護受給者等)	50	63	△13
就労者数	80	74	6
フードバンク事業	133	84	49

(11) 子どもの貧困対策に向けた取り組み

① 学生服リユース事業

1) 対象世帯 児童扶養手当受給世帯他

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
男子人数	23	18	5
女子人数	33	20	13
合 計	56	38	18

2) 引き渡し状況（点数）

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
学生服	202	136	66
体操服・その他	140	63	77
合 計	342	199	143

② 生活困窮者等への食の支援

経済的な課題や生活等に困難を抱える世帯に対する食の支援の一環として、NPO 法人東三河フードバンクの食品寄付の受付を市内の地域福祉センターで行った。

1) 食品寄付の受付期間

令和3年4月1日（木）から令和3年4月13日（火）

令和3年8月4日（水）から令和3年8月18日（水）

令和3年11月17日（水）から令和3年11月30日（火）

令和4年3月23日（水）から令和4年4月5日（火）

2) 食品寄付の受付場所

総合福祉センターあいトピア、八町地域福祉センター、
つつじが丘地域福祉センター、大清水地域福祉センター、牟呂地域福祉センター

(12) 介護予防事業の実施

高齢者の健やかな生活を支えるために、地域住民や老人クラブ、ボランティアの参加、協力を得て、インフォーマルな介護予防サービスとして、次の事業を実施した。

① レクリエーションを使った介護予防事業「笑って元気！」

住民参加（ボランティア）による介護予防の取り組みとして、民生委員や自治会、老人クラブの協力を得てスクリーニングを実施し、介護予防が必要と判断された高齢者を対象に、筋力の維持・改善、仲間づくりや外出による社会参加促進を目的として開催した。

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
スクリーニング	5ヶ所 延べ43名	5ヶ所 延べ77名	0ヶ所 △34名
笑って元気！(全10回)	1ヶ所 4名	1ヶ所 8名	0ヶ所 △4名

②介護予防サロンの実施

笑って元気！の修了者を中心に、高齢者の自主運営による介護予防を目的としたサロンを開催し、筋力維持・改善目的の体操とレクリエーション等による認知症予防、仲間づくりや外出による社会参加促進に取り組んだ。（実績は参加者数）

会 場	令和3年度	令和2年度	比 較
つつじが丘地域福祉センター	18	15	3
八町地域福祉センター	24	32	△8
総合福祉センターあいトピア	21	19	2
大清水地域福祉センター	29	26	3
牟呂地域福祉センター	23	22	1
下地校区市民館	11	11	0
松葉校区市民館	13	11	2
新川校区市民館	19	21	△2
豊校区市民館	9	12	△3
多米校区市民館	25	24	1
芦原校区市民館	13	13	0
福岡校区市民館	13	20	△7
賀茂校区市民館	15	12	3
花田校区市民館	19	18	1
東田校区市民館	20	20	0
向山校区市民館	23	22	1
大岩老人福祉センター	13	13	0
栄校区市民館	11	17	△6
幸校区市民館	25	25	0
牛川校区市民館	20	21	△1
飯村校区市民館	18	18	0
高師校区市民館	18	17	1
鷹丘校区市民館	19	19	0
岩田校区市民館	11	11	0
二川南校区市民館	10	9	1

吉田方校区市民館	21	21	0
玉川校区市民館	8	13	△5
富士見校区市民館	12	12	0
大崎校区市民館	16	13	3
植田校区市民館	18	18	0
野依校区市民館	9	9	0
天伯校区市民館	26	26	0
前芝校区市民館	15	16	△1
津田校区市民館	21	21	0
大村校区市民館	7	12	△5
下条校区市民館	16	14	2
東脇公民館	25	24	1
松山校区市民館	20	20	0
谷川校区市民館	12	11	1
東細谷老人憩の家	18	24	△6
合 計	全40ヶ所 684名	全40ヶ所 702名	0ヶ所 △18名

③介護予防事業「脳の健康教室」の実施

70歳以上の高齢者を対象に、学習サポーターと共に楽しくコミュニケーションをとりながら、簡単な読み書きや計算を中心とする教材（東北大学川島隆太教授監修、くもん学習療法センター作成）を使用した学習を行うことで、脳機能の維持、向上をはかる介護予防の取り組みとして実施した。運営する学習サポーターはボランティアで、本会広報紙や市の広報を活用して募集し事前研修会を開催した。

1)実施内容

前期（4月～8月）、後期（10月～2月）の間、各会場で週1回簡単な読み書き、計算の教材を用いた学習教室（時間は30分程度）を学習サポーターと共にを行い、残り6日間は自宅で学習した。

2) 実施状況 ※受講者数（カッコ内は修了者数）

区 分		令和3年度	令和2年度	比 較
あいトピア	前期(全21回)	30(26)	0(0)	30(26)
	後期(全20回)	29(24)	36(27)	△7(△3)
八 町	前期(全21回)	12(12)	0(0)	12(12)
	後期(全20回)	12(12)	18(14)	△6(△2)
つつじが丘	前期(前21回)	24(20)	0(0)	24(20)
	後期(全21回)	22(20)	27(19)	△5(1)
大清水	前期(全22回)	24(18)	0(0)	24(18)
	後期(全21回)	14(12)	20(20)	△6(△8)
牟 呂	前期(全21回)	14(14)	0(0)	14(14)
	後期(全20回)	15(12)	13(13)	2(△1)
合 計		196(170)	114(93)	82(77)

3) 学習サポーター数

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
前期人数	65	0	65
後期人数	62	59	3
延べ人数	127	59	68

※学習サポーターはそれぞれ担当分けをし、5つの教室を運営

※1人あたり30分参加

(13) ボランティア活動の振興

① ボランティア活動推進計画(第4版・令和3年度～7年度)に基づく事業の推進

ボランティアによる福祉のまちづくりを総合的、効果的に進めるため、本推進計画に基づき養成や研修、登録、情報提供、広報啓発、環境整備、コーディネート等の事業に取り組んだ。

② ボランティアコーディネーターの配置（常勤6名）

豊橋市総合福祉センターにボランティアセンターを開設し、ボランティアコーディネーターによる相談・支援体制の充実に努めた。

〔開設日 火曜日～日曜日（祝日含む）・午前9時～午後9時〕

③ ボランティアセンターの運営（昭和53年2月1日設置）

1) ボランティアセンター運営委員会の開催（委員16名・年3回）

2) ボランティアに関する相談・情報提供・調整の状況

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
情報の提供	13,741件	13,555件	186件
福祉学習等講師派遣	31件	30件	1件
(延べ人数)	254名	240名	14名
(対象人員)	3,172名	2,708名	464名
体験活動等受入調整	0件	0件	0件
(調整先)	0件	0件	0件
(受入人数)	0名	0名	0名
ボランティア紹介	2,127件 4,359名	1,962件 3,382名	165件 977名
(施設協力)	5件 6名	9件 2名	△4件 4名
(行事協力、在宅支援)	1,178件 3,884名	1,097件 2,996名	81件 888名
(点訳活動)	316件	313件	3件
(音訳活動)	167件	160件	7件
(視覚障害者ガイド)	296件 296名	277件 277名	19件 19名
(肢体不自由者ガイド)	165件 173名	106件 107名	59件 66名
ボランティア活動保険 取扱い件数・加入者数	210件 2,014名	243件 2,141名	△33件 △127名
ボランティア行事用保険 取扱い件数・加入者数	45件 1,966名	31件 1,499名	14件 467名
活動資材貸出 取扱い件数・点数	106件 583点	57件 488点	49件 95点
合計件数	16,260件	15,878件	382件

3) ボランティア登録

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
グループ登録	144団体 4,963名	151団体 5,309名	△7団体 △346名
個人登録	84名	103名	△19名
見守りボランティア	2,046名	2,236名	△190名
ボランティア登録数合計	144団体 7,093名	151団体 7,648名	△7団体 △555名

4) 活動状況

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
高齢者福祉	2,739件 9,766名	2,340件 7,712名	399件 2,054名
障害者児福祉	1,599件 9,875名	1,241件 9,580名	358件 295名
児童福祉	533件 3,392名	350件 3,046名	183件 346名
地域環境整備	171件 1,743名	297件 3,530名	△126件 △1,787名
その他	839件 5,034名	790件 2,927名	49件 2,107名
個人活動	785件 785名	546件 546名	239件 239名
合 計	6,666件 30,595名	5,564件 27,341名	1,102件 3,254名

5) ボランティアセンターポスター・パンフレットの配布

6) ボランティア活動拠点の整備によるボランティアグループ支援（あイトピア内）

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
ボランティア活動室	441件 5,876名	324件 3,842名	117件 2,034名
印刷作業室、録音室、編集室	1,682件 6,083名	1,535件 5,511名	147件 572名
団体用貸出書庫	20団体 貸出数42	21団体 貸出数43	△1団体 △貸出数1
団体用貸出ロッカー	17団体 貸出数32	19団体 貸出数34	△2団体 △貸出数2
メールボックス	30団体	32団体	△2団体

④ ボランティア養成講座の開催

各種講座を開催し、福祉ボランティアの人材育成やボランティアグループの支援を行った。

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
手話体験講習会	年4回 受講者71名	年4回 受講者63名	0回 8名
手話入門・基礎講習会	全45回 受講者30名 修了者20名	中止	45回 30名 20名
要約筆記入門講座	全1回 受講者13名 修了者12名	全1回 受講者9名 修了者9名	0回 4名 3名
点訳ボランティア養成講座 （昼の部）	全15回 受講者8名 修了者8名	全16回 受講者3名 修了者3名	△1回 5名 5名
点訳ボランティア養成講座 （夜の部）	全16回 受講者4名 修了者4名	全16回 受講者3名 修了者2名	0回 1名 2名

音訳ボランティア養成講座	全10回 受講者3名 修了者3名	全10回 受講者5名 修了者5名	0回 △2名 △2名
福祉レクリエーション ボランティアセミナー	全6回 受講者2名 修了者2名	全4回 受講者3名 修了者2名	2回 △1名 0名
視覚障害者カイドヘルプ ボランティア講習会	全2回 受講者4名 修了者4名	全2回 受講者8名 修了者6名	0回 △4名 △2名
視覚障害者カイドヘルプ かるがも フォローアップ講座	年1回 受講者16名	年1回 受講者26名	0回 △10名
肢体不自由者ガイドヘルプ ボランティア講習会	全2回 受講者5名 修了者5名	全2回 受講者1名 修了者1名	0回 4名 4名
肢体不自由者ガイドヘルプ 渋茶倶楽部 フォローアップ講座	年1回 受講者14名	年1回 受講者10名	0回 4名
知的障害者サポート ボランティア講習会	年1回 受講者8名 修了者8名	年1回 受講者8名 修了者8名	0回 0名 0名
ボランティアはじめの一步 セミナー	年1回 受講者10名	年1回 受講者14名	0回 △4名
ボランティアグループ 運営研修会	年1回 受講者29名	年1回 受講者18名	0回 11名
地域で活躍!! レクリエーションリーダー 講座(年2回)	各全6回 受講者11名 修了者11名	各全6回 受講者8名 修了者8名	0回 3名 3名
傾聴ボランティア研修会	全2回 受講者14名 修了者11名	全3回 受講者16名 修了者16名	△1回 △2名 △5名
支え合い活動等支援講座	年2回 受講者36名 修了者36名	年2回 受講者87名 修了者87名	0回 △51名 △51名
おもちゃ図書館講習会	2年に1回 実施無し	2年に1回 受講者11名	△0回 △11名
合 計	17講座 受講者278名	17講座 受講者293名	0講座 △15名

- ⑤「まずは体験！入門！身近な施設でボランティア」の作成、配布、電子媒体の提供
福祉への理解促進とボランティア活動へのきっかけ作りを目的に、市内福祉施設の
受入状況をまとめ、中学校区ごとに掲載した冊子を作成、配布、電子媒体で提供した。

⑥とよはしボランティアネットワーク事業の推進

市民がさらに充実したボランティア活動に取り組めるよう、市内のボランティアの連携を推進するとよはしボランティアネットワークの事務局として積極的にサポートを行った。

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
構成メンバー	108団体 個人26名	111団体 個人27名	△3団体 △1名
連絡会の実施	年12回	年12回	0回
連絡会メンバー	14団体 19名	14団体 22名	0団体 △3名
年次集会※	年1回 参加者157名	年1回 参加者63名	0回 94名
交流会	年1回 29名	下記研修会と 合同開催	1回 29名
グループ運営研修会 (再掲)	年1回 29名	年1回 18名	0回 11名
ガイドブック作成	掲載106団体	掲載106団体	0団体
通信の作成・配布	月1回	月1回	0回

※年次集会については幹事市となった東三河ボランティア集会を位置づけ、企画・運営を行った。

⑦ボランティア活動への助成

ボランティアセンター登録または「とよはしボランティアネットワーク」に参加している団体を対象に、各団体の事業に必要な経費の一部を助成した。

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
助成件数	4件	3件	1件
助成額	143,000円	240,000円	△97,000円

⑧ボランティアグループの活動支援

下記のボランティアグループの事務局として運営にあたり、利用者とボランティアとのコーディネート業務を行い、その活動を積極的に支援した。

1) 視覚障害者ガイドヘルプ「かるがも」（会員…38名）

「視覚障害者ガイドヘルプボランティア講習会」の修了者を中心にボランティアグループを結成し、視覚障害者ガイドヘルプサービスを実施した。

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
通 院	9件	11件	△2件
	9名	11名	△2名
研修会等行事参加	1件	1件	0件
	1名	1名	0名
散 歩	110件	97件	13件
	110名	97名	13名
Q O L の 向 上	176件	168件	8件
	176名	168名	8名
その他	0件	0件	0件
	0名	0名	0名
合 計	296件	277件	19件
	296名	277名	19名

※その他…福祉実践教室の講師として協力（14件、42名）

2) 肢体不自由者ガイドヘルプ「渋茶倶楽部」（会員…29名）

肢体不自由者ガイドヘルプボランティア講習会の修了者を中心としたグループにより、肢体不自由者の外出や社会参加を支援した。

○ガイドヘルプの実施

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
研修会等行事参加	0件	0件	0件
	0名	0名	0名
買 物	0件	3件	△3件
	0名	3名	△3名
散 歩	163件	101件	62件
	171名	101名	70名
Q O L の 向 上	2件	2件	0件
	2名	3名	△1名
施設内行事参加	0件	0件	0件
	0名	0名	0名
その他	0件	0件	0件
	0名	0名	0名
合 計	165件	106件	59件
	173名	107名	66名

○交流事業の実施（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
実施回数	1回	0回	1回
利用者の参加	3名	0名	3名
ボランティア参加	13名	0名	13名

※その他…福祉実践教室等の講師として協力（14件、42名）

3) 点工房（会員…42名）

「点字広報とよはし」や「点字市議会だより」の制作を中心に、点訳活動を通して視覚障害者に対する情報保障活動を行った。

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
広報とよはし	毎月1回 60部	毎月1回 60部	0回 0部
市議会だより	年5回 65部	年5回 65部	0回 0部
玉手箱	毎月101項 希望者回覧	毎月101項 希望者回覧	0項
とよひかり	51週22項	46週24項	5週△2項
個人依頼等	236件	238件	△2件
合 計	316件	313件	3件

※その他…福祉実践教室等の講師として協力（14件、24名）

4) 音訳グループ ぴっち（会員…40名）

「声の広報とよはし」や「声のとよはし市議会だより」の制作、福祉団体や個人からの依頼に対する音訳活動を通して、視覚障害者への情報保障活動を行った。

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
広報とよはし	毎月1回	毎月1回	0回
市議会だより	年5回	年5回	0回
ホーム通信	毎月90分 2巻	毎月90分 2巻	0分 0巻
玉手箱	毎月60分 2巻	毎月60分 (5月は中止) 2巻	0分 0巻
障害者団体機関紙	22件	23件	△1件
個人依頼等	104件	97件	7件
合 計	167件	160件	7件

※その他…福祉実践教室等の講師として協力（6件、18名）

5) 豊橋さなえ会（会員…16名）

高齢者、障害者等に対して食事サービスを中心とする援助活動を行った。

- ・老人誕生給食「寿弁当」の配布（延べ63食）

毎月第1火曜日、その月に誕生日を迎える高齢者等に弁当をプレゼントした。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、5～9月、2～3月は活動自粛

- ・料理講習会の実施協力
- ・各種福祉関連行事への参加、協力

6)おもちゃ図書館（会員…16名）

障害のある幼児童を含む子どもたちの健やかな成長や発達を促すため、おもちゃの貸出や保護者・ボランティア等の交流活動を実施した。

○なかよしライブラリー

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
年間開催数	第1、3土曜日 年間19回	第1、3土曜日 年間12回	7回
利用者 (幼児童) (保護者)	414名 (222名) (192名)	231名 (137名) (94名)	183名 (85名) (98名)
ボランティア	72名	33名	39名

○東ライブラリー

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
年間開催数	第2土曜日 年間11回	第2土曜日 年間7回	4回
利用者 (幼児童) (保護者)	71名 (39名) (32名)	29名 (18名) (11名)	42名 (21名) (21名)
ボランティア	56名	28名	28名

○特別開館

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
年間開催数	年間22回	年間21回	1回
利用者	120名	119名	1名
ボランティア	58名	39名	19名

7)レクリエーションリーダー連絡会（会員…112名）

「地域で活躍!!レクリエーションリーダー講座」修了者で結成し、体操やレクリエーション活動などを通して、高齢者の介護予防事業に取り組んだ。

- ・連絡会の実施（毎月1回第1木曜日）
- ・介護予防サロン運営協力（市内40ヶ所）
- ・スクリーニング実施協力

受付、運動機能測定、「笑って元気！」の内容説明と参加者受付を行った。

- ・「笑って元気！」実施協力（市内1ヶ所）
- ・介護予防を目的とした教室で、体操やレクリエーションの実施運営に協力した。

⑨福祉施設ボランティア受入担当者連絡会

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
参加施設数	0回・0施設	0回・0施設	0回・0施設

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設でのボランティア受入中止

⑩大学、専門学校との連携に関わる連絡会

学生のボランティア参加促進に関わる連携について、学校担当者と協議した。

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
参加校	年1回 2大学、2専門学校	年1回 3大学、1専門学校	0回 △1大学 1専門学校

⑪第29回東三河ボランティア集会（共催事業・令和3年度は豊橋市が幹事）

東三河ボランティア集会実行委員会の幹事市として、企画および運営を行ったが、コロナ禍のため規模を縮小し、講演と各市町村中継リレーをオンラインで実施した。

- 1)期 日 令和4年1月29日(土) 午前10時～正午
- 2)会 場 オンライン 各市町村にサテライト会場設置 個人視聴も可
- 3)テーマ 「離れていても 届けみんなのエール ひがしみかわ」
- 4)参加者 157名（内 豊橋市34名、オンライン26名、他市町村97名）

(14)福祉教育の推進

次代を担う児童・青少年に対して、ボランティア体験学習を中心とする福祉教育を関係機関やボランティアの協力を得て実施するとともに、福祉のまちづくり実現のために、各種福祉情報の提供や広報啓発活動並びに助成事業を行った。

①豊橋市社会福祉協力校の委嘱と活動費の助成（6校）

- 1)小学校（3校）… 植田小学校、二川小学校、松葉小学校
- 2)中学校（3校）… 東陽中学校、高師台中学校、中部中学校

②豊橋市福祉教育研究校の委嘱と活動費の助成（3校）

- 1)小学校（1校）… 幸小学校
- 2)中学校（2校）… 豊城中学校、青陵中学校

③社会福祉協力校（研究校）連絡会の開催

社会福祉協力校（研究校）と福祉教育に関する意見交換を行った。（年開催数）

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
実施状況	2	2	0

④児童生徒の福祉実践教室等の教育活動への企画協力（講師派遣）

社会福祉協力校（研究校）を中心に、開催を希望する学校において、手話や点字、視覚障害者ガイドヘルプ等の体験学習や障害についての理解を深める講演会、施設体験学習を実施すると共に、認知症を主とした高齢者理解のプログラムを提供した。

1) 福祉実践教室等の共催

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
福祉実践教室	7校	7校	0校
認知症サポーター講座	2校	3校	△1校

2) 福祉学習への協力

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
相談件数（学校等）	31件	30件	1件
対象児童、生徒人員	3,172名	2,708名	464名
講師人数	254名	240名	14名
受入協力施設	中止	中止	0施設

⑤青少年等ボランティア福祉体験学習事業

社会福祉協力校、終了校の中・高校生が社会福祉施設活動や福祉行事に参加するボランティア体験学習を企画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止し、下記⑦を代替事業として実施した。

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
高校生ワークキャンプ 事前研修 実習	0校・0名 0校・0名	0校・0名 0校・0名	0校・0名 0校・0名
中学生体験学習 事前研修 実習	0校・0名 0校・0名	0校・0名 0校・0名	0校・0名 0校・0名
いきいきフェスタ 事前研修 実習	0校・0名 0校・0名	0校・名0 0校・0名	0校・0名 0校・0名

⑥小学生のためのボランティア体験学習事業

小学生の福祉の心の育成を目的に、地域で関わることができるボランティア体験プログラム（介護予防サロンでのボランティア体験）を企画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止し、下記⑦を代替事業として実施した。

1) 対 象

介護予防サロンを実施している校区の小学校に通う児童（原則4～6年生）

2) 受入期間

夏休み期間中（8月）のサロン開催日（2日間）より選択（複数日選択可）

3) 実施状況

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
受入サロン数	0ヶ所	0ヶ所	0ヶ所
延べ参加者数	0名	0名	0名

⑦夏休み福祉体験学習代替事業

「コロナに負けるな！こんな時だからこそ出来ること！みんなで作って贈って交流体験！」

児童生徒一人ひとりが折り紙等のクラフトを持ち寄って作った作品を地元の福祉施設に贈り、受け取った福祉施設にはお礼品を用意してもらい学校に届けることで、学校と地元の福祉施設との交流を図った。

1) 対象

小学生（原則4～6年生）～高校生

2) 実施状況

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
参加学校数	7校 2校 6校	小学校14校 中学校3校 高校4校	△7校 △1校 2校
参加福祉施設数	32施設	25施設	7施設

⑧福祉活動等助成事業

社会福祉協力校（研究校）事業の委嘱を終了した学校をフォローするため、独自に取り組んだ福祉教育活動に対して助成を行った。

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
助成実績	9校 172,195円	8校 150,292円	1校 21,903円

⑨福祉教育啓発ポスター「きっず・ぼらんていあ」の配布

福祉についての理解を深めるための啓発ポスターを作成し、市内の小中高等学校に配布した。（年2回、90校、1,235クラス）

⑩福祉学習用の参考資料の作成、配布

- 1) 福祉実践教室テキスト「福祉教室ガイド」の作成・配布
- 2) 福祉・ボランティアQ&Aガイドの配布
- 3) 福祉学習テキスト「ほっと！すてっぷ」の配布
- 4) 福祉施設エリアガイドの配布、電子媒体の提供

⑪図書・ビデオライブラリーの設置

学校、市民に対する福祉情報提供サービスとして、福祉やボランティア活動についての学習用図書並びにビデオを無料で貸し出すライブラリーを開設した。

- ・図書貸出…113件、256冊
- ・DVD貸出…0件、0本

⑫社会福祉活動・ボランティア活動者の会長表彰

日頃から社会福祉活動・ボランティア活動に積極的に参加し、他の模範となるような生徒に対し、表彰盾を贈呈した。

- 1) 表彰対象 豊橋市内の高等学校生徒（市内10校）
- 2) 受賞者 5名

(15)福祉人材バンク事業の推進

福祉サービス事業従事者確保のため、福祉人材の就労あっ旋・紹介を行う福祉人材無料職業紹介事業(厚生労働大臣認可…平成11年2月1日)を実施した。また、在宅福祉サービスや社会福祉施設、ボランティア活動等への理解を深めるために、広報啓発活動や各種講座を開催した。

①福祉の仕事に関する相談の受付件数

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
新規求職	113	103	10
新規求人	443	483	△40
求人求職相談件数	1,345	1,348	△3
合 計	1,901	1,934	△33

②ネット紹介システムの実施(平成16年3月23日開始、平成18年12月18日リニューアル)

中央福祉人材センター、愛知県福祉人材センターと連携し、インターネットによる職業紹介「福祉のお仕事 ネット紹介システム」を運用した。

[ホームページアドレス <http://www.fukushi-work.jp/>]

③講演会、研修会の実施

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
福祉人材バンク講演会	年1回 10名	年1回 8名	0回 2名
施設職員のための 福祉レクリエーション 入門講座	全6回 受講3名 修了3名	全6回 受講6名 修了5名	0回 △3名 △2名

④福祉の就職総合フェアの実施（実績は参加者数）

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
東三河会場(本会主催)	65	56	9

※その他、愛知県福祉人材センター主催のフェア2回に職員を派遣

⑤キャリア支援専門員の配置

関係機関との情報交換等により詳細な求人・求職状況を把握し、無料職業紹介所やハローワークの求職者の希望に沿ったマッチングを行うキャリア支援専門員を配置し、福祉人材の確保及び定着化に努めた。

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
ハローワーク巡回相談 (豊橋、豊川、新城)	毎月各所1回	毎月各所1回	0回
福祉人材センター・バ ンク相談員定例会	毎月1回	毎月1回	0回

⑥潜在介護福祉士等の職場復帰支援プログラム

福祉分野の人材確保のため、福祉有資格者の就労を支援する講座を実施した。

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
第1回(2日間)参加者数	2	中止	2
第2回(2日間)参加者数	2	1	1
第3回(2日間)参加者数	中止	2	△2
合 計	4	3	1

⑦福祉人材確保のための資料等の作成、配布

- 1) 社会福祉施設紹介冊子「社会福祉施設のあらまし」の作成
- 2) 福祉の仕事に関する総合情報冊子「福祉ワークとよはし」の作成
- 3) 人材バンク関連資料の配布、広報、啓発活動の実施

(16)とよはしファミリー・サポート・センターの運営

会員相互の育児援助による仕事と育児の両立を目的に次の事業を実施した。

①アドバイザー並びにサブリーダーの配置・会員数の状況

- 1)主任アドバイザー1名、アドバイザー1名、サブリーダー 市内9ブロック 13名
- 2)会員数の状況

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
援助会員数	340	347	△7
依頼会員数	1,569	1,539	30
両方会員数	164	161	3
合 計	2,073	2,047	26

②活動実績（子ども1人を1件と数えた件数）

活動内容	令和3年度	令和2年度	比 較
1. 保育所・幼稚園の登園前の預かり及び送り	997	398	599
2. 保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	1,060	784	276
3. 保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	35	46	△11
4. 学校の放課後の預かり	51	107	△56
5. 児童クラブの迎え及び帰宅後の預かり	463	607	△144
6. 児童クラブからの帰宅後の預かり	53	84	△31
7. 子どもの病気時の援助	3	8	△5
8. 子どもの習い事等の場合の援助	1,109	1,222	△113
9. 保育所・学校等休み時の援助	215	224	△9
10. 保育所等施設入所前の援助	0	0	0
11. 保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	38	58	△20
12. 保護者等の求職活動中の援助	6	1	5
13. 保護者等の冠婚葬祭による外出 他の子どもの学校行事の場合の援助	8	8	0
14. 保護者等の外出の場合の援助	469	349	120
15. 保護者等の病気、その他急用の場合の援助	0	0	0
16. 学校の登下校時の援助	349	310	39
17. 病院の送迎及び同行	5	21	△16
18. 講習会の託児	46	38	8
小 計	4,907	4,265	642
19. 緊急時の予約受付	6	3	3
合 計	4,913	4,268	645

③会員講習会等の実施

会員が安心して援助活動を行うことができるように講習会を開催し、運営上の重要事項や託児を行う上で必要な知識の周知を図った。

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
会員講習会	年4回 132名	年3回 91名	1回 41名
フォローアップ 講習会(救命講習含む)	年5回 会員59名	年4回 会員59名	1回 0名
スキルアップ講座 (援助・両方会員)	年1回 会員8名	年1回 会員13名	0回 △5名
会員交流会	年1回 会員18名 子ども19名 家族5名	年1回 会員13名 子ども14名 家族3名	1回 5名 5名 2名
連絡調整会議 (サブリーダー)	年2回 20名	年2回 18名	0回 2名

④広報誌等の発行

- 1) ファミリー・サポート・センター通信「子育てサポート」の作成、配布
- 2) 「センターだより」の発行（年3回、全会員に送付）
- 3) LINE公式アカウントによるファミリー・サポート・センターの情報提供

(17)豊橋市つどいの広場の運営

豊橋市から委託を受けて、主に乳幼児（0歳から3歳）とその保護者が気軽に集うことができる機会により、「密室育児」による孤立感、閉塞感の解消と子育て・悩み相談や育児に関する情報提供など、子育て支援のための事業を実施した。

①アドバイザー配置状況 アドバイザー1名、アルバイト9名

②開所場所・日時

- 1) 総合福祉センターあいトピア /毎週月・木・金曜日 午前10時～午後3時
- 2) 牟呂地域福祉センター /毎週火・水・木曜日 午前10時～午後3時
- 3) アイプラザ豊橋 /毎週火・水・木曜日 午前10時～午後3時

③利用状況

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
総合福祉センター あいトピア	開所 144日 大人1,858名 子ども2,154名 相談件数93件	開所 127日 大人1,585名 子ども1,777名 相談件数34件	17日 大人273名 子ども377名 相談件数59件
牟呂地域福祉 センター	開所 147日 大人1,301名 子ども1,469名 相談件数85件	開所 128日 大人1,066名 子ども1,200名 相談件数53件	19日 大人235名 子ども269名 相談件数32件
アイプラザ豊橋	開所 141日 大人1,740名 子ども2,065名 相談件数176件	開所 119日 大人1,641名 子ども1,807名 相談件数120件	22日 大人99名 子ども258名 相談件数56件

④専門相談、ミニ講座等の実施

1) 歯科衛生士、保健師、保育士、管理栄養士いずれかによる専門相談

(各会場・毎月1回) ※あいトピア会場のみ11回(講師都合により1回中止)

2) 保育カウンセラーによる子育て講演会の実施

「赤ちゃんの世界はどんな世界？」をテーマに講演会の実施(各会場・年1回)

3) 子育てミニ講座の実施

保育士、健康運動指導士、管理栄養士等による楽しい遊びや学習を行う子育てミニ講座を、スタッフ、親子の交流やふれあいの場として実施した。

(各会場・年12回)

⑤LINE公式アカウントによるつどいの広場の情報提供(3会場)

(18)在宅福祉サービスの提供

①介護保険事業の実施

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
居宅介護支援事業	3事業所 延べ13,126件	3事業所 延べ14,037件	0事業所 △911件
訪問介護事業	2事業所 延べ21,116回 19,492時間	2事業所 延べ26,244回 24,433.5時間	0事業所 △5,128回 △4,941.5時間
総合事業 訪問型サービス	2事業所 延べ9,992回 延べ9,964.5時間	2事業所 延べ13,425回 延べ13,444時間	0事業所 △3,433回 △3,479.5時間
訪問入浴	1事業所 延べ197世帯 延べ1,002回	1事業所 延べ201世帯 延べ1,103回	0事業所 △4世帯 △101回
通所介護	1事業所 延べ456名 延べ5,306回	1事業所 延べ482名 延べ5,075回	0事業所 △26名 231回
総合事業 通所型サービス	1事業所 延べ176名 延べ931回	1事業所 延べ226名 延べ1,136回	0事業所 △50名 △205回

②障害福祉サービスの提供

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
障害者相談支援	1事業所 利用支援448件 継続支援1,689件 地域相談支援0件	1事業所 利用支援399件 継続支援1,813件 地域相談支援3件	0事業所 49件 △124件 △3件
障害者 ホームヘルパー	1事業所 延べ975世帯 延べ10,968回 延べ10,174時間	1事業所 延べ1,077世帯 延べ11,596回 延べ11,948.5時間	0事業所 △102世帯 △628回 △1,774.5時間
障害者 ガイドヘルパー	1事業所 延べ122世帯 延べ454回 延べ525.5時間	1事業所 延べ129世帯 延べ446回 延べ598時間	0事業所 △7世帯 8回 △72.5時間
障害者 訪問入浴	1事業所 延べ51世帯 延べ319回	1事業所 延べ47世帯 延べ240回	0事業所 4世帯 79回

③避難行動要支援者登録台帳作成業務（豊橋市より受託）

日頃の見守りと発災時の対応のため、災害時に支援が必要な方の登録を支援した。

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
登録台帳作成件数	38件	26件	12件

(19)災害時要支援者支援体制の構築

①災害活動支援推進計画に基づく事業の推進

地震など大規模災害に対応するための「災害活動支援推進計画（第5版）」に基づき、災害ボランティアセンターを共同設置する豊橋市とも連携し、人材確保や体制整備に努めた。

1)災害ボランティアコーディネーター連絡会

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
会員の状況	A会員 225名 B会員 139名 合 計 364名	A会員 223名 B会員 129名 合 計 352名	2名 10名 12名
連絡会の開催	0回 0名	0回 0名	0回 0名

※連絡会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

2)災害ボランティアコーディネーター養成講座等人材の育成

災害ボランティアセンターの主たる運営者となる災害ボランティアコーディネーターを確保する事業を実施した。

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
養成講座	全1回 受講者31名 連絡会参加26名	全1回 受講者16名 連絡会参加14名	0回 15名 12名
レベルアップ講座	年1回 33名	年1回 30名	0回 3名
豊橋市総合防災訓練	0回 0名	0回 0名	0回 0名

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、養成講座は1回に縮小して実施

※防災訓練は中止

②愛知県社会福祉協議会・市町村社協災害対応支援部会への参加、協力

災害時活動における県内市町村社協の連携推進を目的として愛知県社会福祉協議会が設置する部会に、東三河ブロックとして協力した。（令和3年度は新城市が幹事）

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
災害対応支援部会	年3回	年2回	1回
災害対応支援会議	年1回	年1回	0回

③東三河ブロック社会福祉協議会・災害担当者連絡会の開催

災害時の連携体制構築のため、東三河ブロックの社会福祉協議会職員が参集し、情報交換によりそれぞれの課題を共有すると共に、今後のブロック内連携のあり方について協議した。（令和3年度は新城市が幹事）

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
災害担当者連絡会	年1回 5市2町1村	年1回 5市2町1村	0回

④事業継続計画（BCP）に基づく備蓄

大規模災害時の事業継続計画に基づき、発災後の事業継続のため、職員の活動に必要な5日分の食糧並びに物品の備蓄を行った。

4. 一般事業

(1)児童・母子福祉事業

①あかいはね子どもの遊び場の設置（15カ所）

②母子・父子世帯等児童新入・進学祝品の贈呈（計239名）

1) 小学校入学児童：母子世帯…123名、父子世帯…4名

2) 中学校入学児童：母子世帯…103名、父子世帯…8名、養育者世帯…1名

③豊橋母子福祉会事業への助成（歳末たすけあい配分金）

1) クリスマス会開催費の助成

④豊橋保育協会への助成

⑤豊橋市幼稚園協会への助成

⑥民間保育所遊具等整備資金の助成（49施設）

⑦児童福祉週間関係行事への協力

⑧優良子ども会への記念品贈呈（森岡町子ども会）

(2)福祉教育振興基金助成事業

児童養護施設等や里親の元で生活する児童が進学や就職するための経費の一部を助成し、児童の自立に向けての環境づくりを支援した。

（平成14年度故眞木きく氏からの遺贈及び平成29年度豊橋市からの寄付金に基づく事業）

①助成対象

1) 豊橋若草育成園、豊橋ゆたか学園、豊橋平安寮、岩崎学園、里親

2) 高等学校、大学等への進学に伴う修学資金、就学支援金、就職支度金

②助成金額単価

進学先	助成金額	
	修学資金	就学支援金、就職支度金
公立高校	月10,000円	100,000円
私立高校	月15,000円	100,000円
特別支援学校	月 5,000円	100,000円
国公立大学	月10,000円	400,000円以内
私立大学		600,000円以内
就 職	—	50,000円

③助成実績

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
修学資金 (高等学校等)	32件・2,985,000円 公立 17件 私立 2件 特別支援学校 13件	32件・3,010,000円 公立 17件 私立 2件 特別支援学校 13件	0件・△25,000円 0件 0件 0件
修学資金 (大学等)	1件・120,000円 私立 1件	1件・120,000円 国公立 1件	0件
就学支援金 (高等学校等)	11件・1,100,000円 公立 8件 私立 0件 特別支援学校 3件	9件・900,000円 公立 6件 私立 1件 特別支援学校 2件	2件・200,000円 2件 △1件 1件
就学支援金 (大学等)	1件・600,000円 私立 1件	0件	1件・600,000円 1件
就職支度金	7件・350,000円	4件・200,000円	3件・150,000円
合 計	52件・5,155,000円	46件・4,230,000円	6件・925,000円

(3)高齢者福祉事業

①ひとり暮らし高齢者「ふれあい料理講習会」

ひとり暮らしの高齢者の食生活改善や仲間づくり、ボランティアとの交流

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
総合福祉センター あいトピア	全0回 参加者0名	全4回 参加者17名	△4回 △17名
つつじが丘地域 福祉センター	全0回 参加者0名	全4回 参加者10名	△4回 △10名
大清水地域福祉 センター	全0回 参加者0名	全5回 参加者13名	△5回 △13名

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

②「クッキングパパ」

ひとり暮らし高齢者「ふれあい料理講習会」の修了者の男性を中心に結成されたグループの活動を支援した。

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
総合福祉センター あイトピア	全0回 参加者0名	全4回 参加者10名	△4回 △10名

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

③敬老祝品の贈呈

- 1) 饅頭（88歳及び99歳以上） … 1,995名
- 2) バス・フェイスタオルセット（99歳） … 122名
- 3) タオルセット（100歳以上） … 216名

④豊橋市介護者表彰

7年以上の長期にわたり、在宅でねたきり高齢者、重度障害者等を介護されている方に対してその労をねぎらい、感謝状及び記念品を贈呈した。（被表彰者…7名）

表彰伝達式…令和4年3月9日（水） 於：総合福祉センターあイトピア

⑤ダイヤモンド婚・金婚記念品の贈呈

ダイヤモンド婚（結婚60周年）と金婚（結婚50周年）を迎えたご夫婦に対し、豊橋市高齢者福祉大会において記念品の花束を贈呈した。

（ダイヤモンド婚…52組、金婚…101組）

⑥老人クラブ活動の育成

- 1) 活動費の助成
- 2) 高齢者囲碁・将棋大会への協力 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- 3) 高齢者趣味の演芸大会への協力 ※ //

⑦要介護認定訪問調査事業の受託実施

訪問調査業務を豊橋市及び他市区町村より受託し、申請世帯の訪問調査を実施した。

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
調査依頼件数	4,650件	4,233件	417件
調査実施件数	4,584件	4,404件	180件

(4)障害者（児）福祉事業

①障害者団体活動への援助、協力

- 1)豊橋市手をつなぐ育成会
 - ・事業費の助成
 - ・中学卒業祝品の贈呈（令和3年度実績…0名）
 - ・クリスマス会開催費の助成（歳末たすけあい配分金）
- 2)豊橋市肢体不自由児（者）父母の会
 - ・事業費の助成
 - ・クリスマス会開催費の助成（歳末たすけあい配分金）
- 3)豊橋精神障害者地域家族会への助成
- 4)豊橋身体障害者協会への助成
- 5)豊橋身体障害者（児）福祉団体連合会への助成
- 6)豊橋市聴覚障害者協会への助成
- 7)愛友会への助成

②身体障害者リフトカーの貸出

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
貸出件数	4	3	1

③「障害児（者）とボランティアのつどい」の開催（年1回）

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
参加者数 (障害児者、家族) (ボランティア)	547 (335) (212)	409 (291) (118)	138 (44) (94)

※集合してのレクリエーション交流を代替し、施設・団体に募り寄せられた四つ葉のクローバーのメッセージカードをボランティアがクローバー畑に見立てた形に組み立て、その作品をあいトピアへ展示した。（参加者数はメッセージカード数と組み立てたボランティアの人数）

④「2022年 豊橋市障害者はたちのつどい」（成人式）の共催（年1回）

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
新成人参加者	12	0	12

※新型コロナウイルス感染症の影響で会場へ来場が困難な新成人に対し、式典の様子をYouTubeでライブ配信した。

⑤「伸びゆく子どもたちの作品展」の助成（豊橋市特別支援教育研究協議会）

※助成事業中止

⑥在宅障害者「なかよし料理講習会」

在宅障害者の仲間づくり、ボランティアとの交流、社会参加の促進

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
総合福祉センター あイトピア	全2回 8名	全4回 8名	△2回 0名

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全4回予定のうち2回は中止。

⑦とよはし障害者青年学級

障害者の社会参加を促進するとともに、ボランティアとの交流を深める。

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
会員数 (障害者)	0 (0)	90 (69)	△90 (△69)
(ボランティア)	(0)	(21)	(△21)
実施状況	中止	中止	0

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全6回予定を全て中止。

(5)校区社会福祉協議会の育成指導

住民主体による地域福祉の増進のために、市内の10小学校区に校区社会福祉協議会を設置し、地域の特性、ニーズに応じた地域福祉活動を展開した。

松葉校区社会福祉協議会、新川校区社会福祉協議会、大村校区社会福祉協議会
下地校区社会福祉協議会、高師校区社会福祉協議会、八町校区社会福祉協議会
吉田方校区社会福祉協議会、旭校区社会福祉協議会、幸校区社会福祉協議会
芦原校区社会福祉協議会

(6)施設の管理及び運営

地域における福祉活動の拠点施設を管理、運営することにより、地域福祉増進のための各種活動を展開するとともに、高齢者等に必要な福祉情報やサービスを提供した。

①利用の状況

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
総合福祉センター あイトピア (指定管理)	開設 308日 延べ利用回数 4,956回 延べ利用者 39,905名	開設 271日 延べ利用回数 4,314回 延べ利用者 32,883名	37日 642回 7,022名
八町地域福祉 センター (指定管理)	開設 308日 延べ利用回数 1,971回 延べ利用者 18,506名	開設 271日 延べ利用回数 1,700回 延べ利用者 16,334名	37日 271回 2,172名
大清水地域福祉 センター (指定管理)	開設 308日 延べ利用回数 2,246回 延べ利用者 18,275名	開設 271日 延べ利用回数 2,311回 延べ利用者 25,327名	37日 △65回 △7,052名
牟呂地域福祉 センター (指定管理)	開設 308日 延べ利用回数 2,499回 延べ利用者 23,953名	開設 271日 延べ利用回数 2,485回 延べ利用者 23,286名	37日 14回 667名
つつじが丘地域 福祉センター	開設 310日 延べ利用回数 2,961回 延べ利用者 32,841名	開設 271日 延べ利用回数 2,345回 延べ利用者 22,773名	39日 616回 10,068名
東部老人会館	開設 294日 延べ利用者 3,982名	開設 263日 延べ利用者 4,902名	31日 △920名

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、所轄行政の指示に基づき時間短縮・定員制限等を実施。

②『あイトピア見学と福祉のお話』の開催

福祉センターの指定管理者として、市民に対し、総合福祉センターあイトピアをより知ってもらうことを目的に実施した。

期 日	会 場	参加者
令和3年10月28日(木) 午前10時45分～午前11時45分	総合福祉センターあイトピア	47名

③高齢者セミナー『笑って過ごそう！高齢化社会』の開催

市民に対し、つつじが丘地域福祉センターをより知ってもらうことを目的に実施した。

期 日	会 場	参加者
令和4年1月26日(水) 午前10時00分～午前10時50分	つつじが丘地域福祉センター	45名

(7)啓発及び広報活動

広報紙やポスター、パンフレット、インターネット、ソーシャルメディア等を活用して、本会事業の啓発に努めた。

①「とよはし社協だより」（本会広報紙、A4版8ページ）

年3回（6月1日、8月1日、3月1日）発行、全世帯配布、発行部数 120,000部

②「社協のあらまし（事業概要）」…2色刷、14ページ

③ホームページの運営

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
年間アクセス件数	41,876	46,153	△4,277
月平均件数	3,490	3,846	△356
累 計	650,948	609,072	41,876

1)豊橋市社会福祉協議会ホームページ

本会事業紹介や情報公開を目的としたホームページを運用した。

[ホームページアドレス <http://toyohashi-shakyo.or.jp/wordpress/shakyo/>]

2)ホームページ「ボランティアの扉」

ボランティア団体の活動紹介やボランティア活動に関する情報の提供を目的としたホームページを運用した。

[ホームページアドレス <http://toyohashi-shakyo.or.jp/wordpress/tobira/>]

3)LINEによる情報提供

ソーシャルメディア LINE の友だち登録を進め、市民への情報発信を行った。

- ・ボランティアセンター登録 1,563件
- ・ファミリーサポートセンター登録 383件
- ・つどいの広場登録 1,993件

④いきいきフェスタ 2021

市民の社会福祉への理解を深めることを目的に「命の尊さ・共に生きる」をテーマとし「市民福祉の日（8月22日）」の行事として実施した。コロナ禍の為にイベント関連は中止とし、記念講演（トークショー）のみを実施した。

1)期 日 令和3年8月22日(日)

2)会 場 ライフポートとよはし

3)参加者 約200名

4)記念講演 講 師 猪狩 ともか 氏

(車いすアイドル・アイドルグループ“仮面女子”メンバー)

テーマ 「自分らしく生きるとは」

⑤豊橋市社会福祉大会（豊橋市と共催）

社会福祉の第一線で活躍する関係者が一堂に会し、社会福祉事業功労者を顕彰した。

- 1) 豊橋市社会福祉活動顕彰（大章… 2，銀有功章… 4，銅有功章… 3，実行章… 9）
- 2) 豊橋市社会福祉協議会会長表彰（16名）
- 3) 豊橋市長感謝（1名）
- 4) 豊橋市社会福祉協議会会長感謝（115名）
- 5) 中央共同募金会会長感謝（1個人・1団体）
- 6) 「福祉についての書道・ポスター作品コンクール」入賞者表彰（69名）

⑥「福祉についての書道・ポスター作品コンクール」の実施（応募総数…309点）

福祉への理解、関心を高めるため、市内の小・中学校の児童・生徒の作品を募集し、優秀作品については、展示会を行った。

- 1) 展示期間 令和3年8月24日（火）～9月5日（日）
- 2) 会 場 総合福祉センターあいトピア

(8)共同募金運動への協力

①共同募金運動（10月1日～3月31日）

「国民たすけあい」の精神を基調とし、国民各層の社会福祉に対する理解と関心を培うとともに、民間社会福祉事業の発展に寄与するために、多くの個人、団体、法人等の協力により、次のとおり成果を収めた。

- 1) 豊橋市共同募金委員会運営委員会（年2回、運営委員26名、監事2名）

2) 実 績

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
地域募金	11,117,518円	11,270,134円	△152,616円
法人・事業所募金	5,382,000円	5,623,842円	△241,842円
街頭募金	373,141円	355,815円	17,326円
学校募金	1,366,523円	1,339,961円	26,562円
職域募金	1,289,015円	1,443,127円	△154,112円
篤志募金	1,756,933円	1,475,812円	281,121円
県共募預け金	87,239円	174,518円	△87,279円
合 計	21,372,369円	21,683,209円	△310,840円

②歳末たすけあい運動（12月1日～12月31日）

1)実績

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
地域募金	12,119,636円	12,381,997円	△262,361円
街頭募金	322,288円	243,137円	79,151円
職域募金	234,430円	273,278円	△38,848円
篤志募金	1,359,738円	1,468,698円	△108,960円
県共募預け金	123,500円	58,000円	65,500円
小 計	14,159,592円	14,425,110円	△265,518円
災害等予備金	1,961,449円	2,235,621円	△274,172円
合 計	16,121,041円	16,660,731円	△539,690円

2)配分状況

歳末たすけあい義援金配分委員会において配分についての協議を行い、市内の要援護世帯等に対し、次のとおり配分を行った。

- ・歳末たすけあい義援金配分委員会（委員15名・年2回）
- ・配分実績

区 分	人 員	1人あたり額	配 分 額	
1 次 配 分	要援護世帯（単身世帯）	118人	4,000円	472,000円
	要援護世帯（複数世帯）	540人	3,000円	1,620,000円
	交通遺児世帯	0人	10,000円	0円
	通所施設（人員49人以下）	2,025人	2,000円	4,050,479円
	通所施設（人員50人以上）	4施設	100,000円	400,000円
	ひとり暮らし老人おせち料理（豊橋さなえ会）	未実施	社協ヘルパー派遣世帯	0円
	東三更生保護会	更生保護施設		60,000円
	父母の会クリスマス会	豊橋市肢体不自由児(者)父母の会		40,000円
	育成会クリスマス会	豊橋市手をつなぐ育成会		40,000円
	母子福祉会クリスマス会	豊橋市母子福祉会		40,000円
	障害者はたちのつどい	障害者成人式		283,570円
小 計			7,006,049円	
2 次 配 分	重度心身障害児	758人	8,000円	6,064,000円
	重度心身障害者	112人	8,000円	896,000円
	児童福祉施設退所予定者	10人	60,000円	600,000円
	三宝厚生館退所予定世帯	20人	10,000円	200,000円
	小 計			7,760,000円
災害見舞金	被災世帯（9世帯）		550,000円	
総 計			15,316,049円	

※通所施設（人員49人以下）で返還金あり

※運動推進費 … 722,000円、災害等予備金 … 82,992円

③災害見舞金の支給（昭和59年～）

区 分		令和3年度	令和2年度	比 較
火 災	全焼	5件 300,000円	5件 300,000円	0件 0円
	半焼	3件 90,000円	1件 30,000円	2件 60,000円
風水害	全壊	0件 0円	0件 0円	0件 0円
	半壊	0件 0円	1件 30,000円	△1件 △30,000円
死 亡	生計維持者	1件 100,000円	1件 100,000円	0件 0円
	上記以外	1件 60,000円	2件 120,000円	△1件 △60,000円
合 計		10件 550,000円	10件 580,000円	0件 △30,000円

④「第73回赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール」の実施（応募総数…1,988点）

児童生徒の社会福祉に対する理解をより深め、「たすけあい」の心を育成するために実施し、優秀作品については、展示会を行った。

年2回／アピタ向山店、総合福祉センターあいトピア

(9) 諸団体への助成

地域福祉の増進のために、諸団体の活動費並びに諸行事に対し助成を行った。

分 類	団 体 名
児 童 福 祉 事 業	豊 橋 保 育 協 会
	豊 橋 市 幼 稚 園 協 会
	民 間 保 育 所
高 齢 者 福 祉 事 業	豊 橋 市 老 人 ク ラ ブ 連 合 会
障 害 者 福 祉 事 業	豊橋市肢体不自由児（者）父母の会
	豊橋精神障害者地域家族会
	豊 橋 身 体 障 害 者 協 会
	豊橋身体障害者（児）福祉団体連合会
	愛 友 会
地 域 福 祉 活 動	豊橋市民生委員児童委員協議会
	モ デ ル 民 協
	校 区 社 会 福 祉 協 議 会
	豊 橋 市 自 治 連 合 会
	豊橋人権擁護委員協議会豊橋地区委員会
福 祉 教 育	社 会 福 祉 協 力 校 （ 研 究 校 ）
ボランティアグループ	豊 橋 さ な え 会
	ボ ラ ン テ ィ ア グ ル ー プ
遺 族 会	豊 橋 市 遺 族 連 合 会
更 生 保 護 事 業	豊 橋 保 護 区 保 護 司 会
	豊 橋 市 更 生 保 護 女 性 会

(10) 本会社会福祉事業等への寄付、寄贈

社会福祉協議会寄付金 令和3年度寄付金総額 1,452,348 円

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較
つ り 銭 募 金	26件 163,081円	15件 111,090円	11件 51,991円
ボランティア基金	2件 30,621円	5件 134,473円	△3件 △103,852円
福祉教育振興基金	16件 644,559円	14件 1,155,470円	2件 △510,911円
物 品 寄 付	1件 614,087円	6件 1,101,572円	△5件 △487,485円

(11)会費制度

区分	種 別	口 数	単 価	収 納 額
特 別	商工会議所役員議員	253 口	1,200 円	303,600 円
	市 三 役 部 課 長	195 口	1,200 円	234,000 円
	農業委員・農地利用最適化推進委員	48 口	1,200 円	57,600 円
	民生委員・児童委員	555 口	1,200 円	666,000 円
	一 般	5 口	1,200 円	6,000 円
	計	1,056 口	—	1,267,200 円
施 設	社会福祉施設等	117 口	2,000 円	234,000 円
	計	117 口	—	234,000 円
賛 助	社会福祉施設長等	122 口	600 円	73,200 円
	計	122 口	—	73,200 円
普 通	地 域（自治会）	6,828 口	200 円	1,365,723 円
	保 護 司 会	100 口	200 円	20,000 円
	更生保護女性会	50 口	200 円	10,000 円
	人権擁護委員	22 口	200 円	4,400 円
	施設職員等	1,740 口	200 円	348,000 円
	計	8,740 口	—	1,748,123 円
合 計		10,035 口	—	3,322,523 円

※普通会員の地域（自治会）分については、15自治会会員をもって1口とする。

※単価は依頼額。収納額は実績に基づき端数あり。

豊橋市社会福祉協議会定款第38条1項に規定する「事業報告の附属明細書」については、社会福祉法施行規則第2条の25第3項による「事業報告の内容を補足する重要な事項」の該当が無いため、作成無し。

令和4年5月

社会福祉法人 豊橋市社会福祉協議会

